

平成24年11月15日

静岡県牧之原市菊川市学校組合立牧ノ原小学校

校長 増田 一雄 様
P T A 会長 様

大船渡市立越喜来小学校

校長 今野 義雄



東日本大震災に関わる御支援について（御礼）

秋も深まり朝夕はめっきり冷え込む様になりましたが、校長先生をはじめ貴校 PTA 会長様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお喜び申し上げます。

さて、過日は、本校のためにたくさんの義援金のみならず、会長さんには大切に作られたお茶までお供わいただき、心より御礼申し上げます。

大震災から既に1年8ヶ月余の月日が流れ、被災した校舎は9月より解体が始まるとともに、校庭に積み上げられていた瓦礫の撤去もかなり進むなど次第に空間的にも穏やかな三陸が戻りつつあります。

また、本校は、この4月より、震災以前から決まっていたことでもありますが、旧甫嶺小学校と崎浜小学校、そして越喜来小学校の3校が統合し、新越喜来小学校としてスタートしました。本来ならば旧越喜来小学校の校舎を使用するところ、頼みとする越喜来小学校の校舎が大津波にのまれ全壊したことにより、旧甫嶺小学校の校舎を間借りして今日にいたっております。今は、平成27年度には海拔50Mの高台に新しい校舎も建築されるという計画が進んでおり、それを励みとし、みんな仲良く勉強や運動を頑張っているところです。

本校児童の中には、家族や親戚、また、住まいや仕事を失うなど決して軽んじることのできない現実を持つ子もおりますが、104人みな元気に登校しています。

時間が経つとよくどんなことでも忘れ去られてしまうものですが、貴校のように「11円募金」をして、わたしたちの支えになっていただいている学校があることを思うと、感謝の言葉もありません。そしてまた、素晴らしい学校経営がされているものと推察され、うらやましい限りです。本当にありがとうございました。

いただいた義援金は、子どもたちのために大事に活用させていただきたいと思っております。

日に日に寒くなります。どうか、風邪などひかぬようお体に十分お気をつけてお過ごし下さい。

結びに、遠く三陸の地より貴校の益々の発展をお祈り申し上げ、略儀ながらお礼の挨拶といたします。

* 大船渡ユネスコ協会で作成した防災教育のための冊子「津波はいつかまた来る」を同封いたしましたので、どうぞご活用下さい。